

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 グランフェール宮の沢ザ・パークフロント(西棟)

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数						
Q 建築物の環境品質														
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1.3 吸音														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
3 光・視環境														
3.1 昼光利用														
3.2 グレア対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
4 空気質環境														
4.1 発生源対策														
4.2 換気														
4.3 運用管理														
Q2 サービス性能														
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1.2 心理性・快適性														
1.3 維持管理														
2 耐用性・信頼性														
2.1 耐震・免震														
2.2 部品・部材の耐用年数														
2.4 信頼性														
3 対応性・更新性														
3.1 空間のゆとり														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														

CASBEE_Sapporo2014v1.2 グランファール宮の沢ザ・パークフロント(西棟)		重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理			
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄							
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)													
1 生物環境の保全と創出				C		公園に面して建物を配置し、できる限り距離をとって威圧感をなくす構	2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				C			4.0	0.40	-	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮							3.0	0.30	-	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D		3.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C			3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性													
LR1 エネルギー													
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				日本住宅性能表示基準の省エネルギー等級4を満たしている。	5.0	0.20	-	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		A					3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						BEI 非住宅 — 住宅(専有部) 0.84	5.0	0.50	-	-	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A											
集合住宅の評価(3c)		A				高い断熱性能や第1種換気の採用で省エネ化を図っている。	5.0	1.00	-	-	-	-	-
4 効率的運用							3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価													
4.1 モニタリング		A					3.0	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A											
集合住宅の評価													
4.1 モニタリング		A					3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A					3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル													
1 水資源保護							3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減							2.9	0.60	-	-	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			B				2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B				3.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B				3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.5	0.20	-	-	-	-	3.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用						各接着剤は有害物質を含まない材料を使用している。	4.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避							3.3	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤			B			ハロン消火剤は一切使用していない。	4.0	0.33	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			B				3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 冷媒			B				3.0	0.33	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境													
1 地球温暖化への配慮			B			緑化基準以上の緑化に努めている。	4.3	0.33	-	-	-	-	4.3
2 地域環境への配慮							2.6	0.33	-	-	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			B				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D		2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制							3.5	0.25	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			B				-	-	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制							-	-	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制						十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.50	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D		3.0	0.50	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮							2.1	0.33	-	-	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音							3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 振動							3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 悪臭							3.0	0.33	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							1.6	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制							1.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制													
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制							1.6	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策							1.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	-	-	-	-	-